

西高の思い出

安田 賢司

「起立。」「おや?」「先生、一年は三階だよ。」と言う声で我にかえった。こんな失敗が私の西高での始まりでした。監督をまかされたことです。野球に関して素人同然であった私が監督、部長と務められたのは、部員、OB、その他大勢の人達に恵まれたからだと思つています。平日だというのに、夏の大会だけは、遠くだろうが近くだろうが必ず見に来ては声を張り上げ応援してくれるそんな人達に西高の野球部は支えられてきたのだと思つています。今年の夏もぜひ頑張つてほしいと思っています。

また西高は一宮高校と学校群を組んでいて常に両校は比較されていました。私が西高に赴任したときは群の一回生が卒業したあとで、一宮高校以上の進学実績を挙げたときでした。その後二、三年は一宮高に匹敵する成績を残したもの、その後飛躍的に一宮高が伸び、我が西高はおいてきばかりをくうはめになつたのです。いわゆる西高のつらい時代でした。

西高の職員として私たちには、生徒自身が卒業したとき、西高で良かったと思える学校づくりを目指してきました。そして進学成績を良くするためににはどうしたらよいかと模索し始めたのもこの頃だつたと思います。今思えば、ずいぶんと無茶な事や、後先考えない事をやってきたなあと、思っています。

土曜日の午後や休日だらうと時間さえあれば補習をやつたのも覚えていました。

その後の練習の成果があつたのか、新

まず、彼らは二年生の時の夏合宿を、岐阜県の数河高原で、四泊五日の日程で行ないましたが、幸運にも、全国大会出場経験を持つ報徳学園や、スクールウォーズで有名になつた伏見工業とゲームができました。しかし、その力の差には、大変驚かされました。

西高九年間で、一番印象に残つているのは、前任校から転勤してきてすぐには任せた一年八組と、その学年のラグビーチームの生徒達です。さて、昭和五十八年四月に入学したラグビー部の生徒達と共に彼らの三年間を振り返つてみたいと思います。

ラグビー部と共に九年間 笹原 和伸

在任中豊富な経験、力量をもつ諸先生方のご指導を受け、また各地で活躍されているOBの方々の励ましを受け、何とか無事つとめてこれました。西高で出会った人々は、生涯私の恩師であり、親友であり、良き後輩だと信じています。

高同窓会の益々の発展を願つています。

彼らが、ラグビーだけでなく、部活動で得た何事にも全力でぶつかる氣力をいかし、進学の面でもすばらしい実績を示した学年だけに、私自身教員生活十九年において、特に印象深い学年として心に残っています。彼らが、その後、どのような人生を送つているか、再会を楽しみにしています。

そこでまでやらなければならなかつた西高だつたと私は思つています。幸いにもそんな失敗が私の西高での始まりでした。監督をまかされたことです。野球に関しては全く塗りかえられました。ひとつ目の目標

にむかい、多くの先生が結束した結果だと思います。複合選抜という新しい入試求されています。地域のそして生徒の期待にこたえる西高であつてほしいと切に願っています。

彼らの最後の大会である総体尾張大会で優勝し、県大会準決勝で西陵商業と対戦することになりました。前半18対9となり、東海大会に出場できると思つたのもつかの間の夢、スクランムトライを次々と取られ、24対18で負けてしまいました。試合後、西陵FWの疲れ果てた姿を見た時、彼らも充分に力を出して戦つたのだなあと思いました。

始まつたばかりの大学生活 兼松 香織

地から人がやつてくるんですね。おかげで、友人は地方色豊かな子がたくさんいます。沖縄とか島根とか山形とか…。最初は、出身地を聞くたび驚いたりしていました。そのたび、ああ田舎者だな私つて

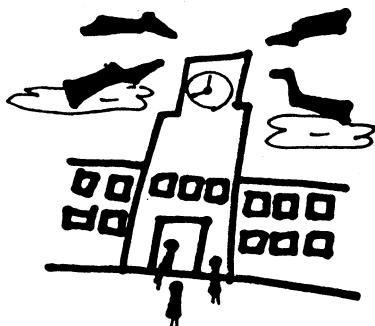
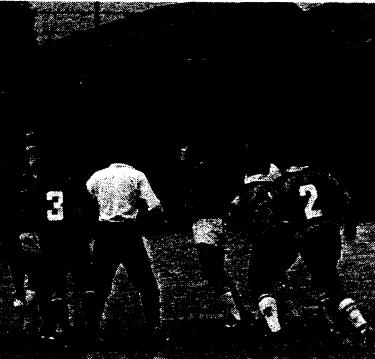


大学生活

などと思っていましたが…。しかし、自分が全然違うんですね。そりや、個性があるんだろうけど、やっぱり、「お国がら」というのが出てく

るみたいです。話とか聞いてると飽きなでありません。だからこの原稿に何を書こうか悩んでいます。しかし、悩んでるだけでは、原稿はうまつてくれません。というわけで、ここ一ヶ月弱の大学生生活で感じたことなど、少し書いてみたいと思います。

大学の第一印象は、はつきり言つて、不親切の一言でした。慣れれば、なんてことはないことです。高校までは、椅子に座つても情報とかは耳に入つてきました。担任の先生方が、いろいろ教えてくれたりしたわけで、情報に対しつけつけこう受動的な姿勢でした。自分から動かなくとも、なんとなるんだろうと、いう感じだったのです。ところが、大学では、自分から動かなければ、全く情報が入つて来ない。最初の頃は、掲示板を探して走り回つてばかりでした。友人と、不親切だ不親切だ、と文句ばかり言つてたような気がします。でも、不親切じやないんですね。本当は、大切どころか、当然のことなんですね。自分から動けば、それなりに得るものがあるわけですから。もっと積極的に動かねばと思っている、このごろです。



昨年度総会の報告

平成三年度の総会は、八月四日正午より、例年通り真清田神社参集殿において開催されました。いつもながら快晴の大変暑い日でしたが、会場は冷房がきいて快適に会を進めることができました。今回も旧職員・現職員の先生方には多数出席していただきました。この場を借りてあらためてお礼を申し上げます。



たきました。そして講事に彩り、平成二年度の事業報告・会計報告がそれぞれ承認されました。次の役員選出では、母校に人事異動にともない、書記に浜家・岩田両教頭先生を推すことが承認されました。最後に、平成三年度の事業計画・予算案がそれぞれ承認されました。

談すること2時間あまり、最後は母校の校歌を高らかに歌い、万歳三唱をして会を閉じました。

昨年度総会の参加者数は、決して多くはありませんでした。母校が創立三十周年をむかえようとしている状況を考えると、大変残念なことです。特に今回は、葉書では出席の返事をいただきながら、当日都合で欠席された人が目立ちました。また、母校を卒業してまもない若い諸君の参加がきわめて少ないという感じも受けました。何かと事情があろうかと思いますが、関係者としては心の痛いところです。一度会員の皆さんに総会の時期や時間に関するアンケートを実施したいと思います。今年度はその機会をもって、ませんでしたが、ご意見をお持ちの方は、会報に同封してある葉書にお書きいただければ幸いです。

なお、創立三十周年を機に総会の運営方法を変えていこうと、現在検討している



平成三年度

東京理科大一年 神辺 隆行

昨年十一月三十日(土)、新宿駅近くに

会が開かれました。学校側からは、遊壇・水谷両先生に来ていただきました。

学生が参加し、出席者は四十名を数える程になりました。特に今回は、今年卒業

した新大学生や新社会人の人々にたくさん出席していただくことが出来たこと

大きな意義があつたと思います。会は約二時間にわたつてお互の親睦を深める中

にも社会生活のことや大学生活のこと、そして懐かしい高校時代のこと等、それ

業してから色々経験し少し大人びた人、全く変わっていな、人など、色々な人が

いましたか 改めて高校時代の友人のすばらしさを感じました。一会员としては

とも、会えるよう全ての人が幹事となり多くの会を催す、又より多くの社会人の

方にも参加していただき、東京付近に住

む一宮西校の卒業生の縁を深めてゆきた
いと思います。

ます。具体的には、特定の卒業回が総会を運営していくという方向を考えていま

第26回生年度幹事

1組	吉田	豊・木野智可子
2組	平松	毅之・松本昌子
3組	田島	裕士・兼松香織
4組	寺沢	祐介・杉浦久仁江
5組	横井	秀洋・吉兼ひな子
6組	和田	英明・堺真由美
7組	峰屋	齊・山田佳弘
8組	梶川	修一・星野善保
9組	可児	昌行・前田裕貴
10組	加藤	智久・松永路子
第26回生常任幹事	兼松	香織

総会のお知らせ

同窓会総会を左記の要領で実施いたします。多数の御出席を心待ちにいたしております。

● 日時 八月九日(日)正午開始
終了後、懇親会を準備
しております。

●場所 真清田神社 参集殿

会費二千円
(ただし学生は千円)

※なお、準備の都合上、出欠席の葉書を七月二十日までにお出しくださるようお願ひ

いたします。



卒業記念品（体育館壁面）

愛知県立一宮西高等学校校歌

大学合格者数一覧

昨年度も卒業生諸君がよく健闘し、名古屋大学をはじめとして、各大学の入試に立派な成果をあげることができました。本年度も微力ながら精一杯がんばりますので、よろしくお願ひします。

〈全體〉	
国立大学	271(50)
公立大学	39(7)
私立大学	870(247)
公立短大	108
私立短大	245(3)
専門学校	4(1)

〈主な国公立大学〉	
京都大	4(2)
名古屋大	36(8)
愛教大	44(1)
名工大	27(1)
岐阜大	39(6)
三重大	29(3)
静岡大	17(1)
一橋大	2(2)
金沢大	7(2)
奈良女子大	3(1)
愛知県大	11
名市大	16(2)

〈主な私立大学・短大〉	
早稲田大	7(5)
慶應大	9(7)
南山大	66(17)
愛知大	103(22)
名城大	109(20)
愛工大	105(24)
同志社大	24(16)
立命館大	22(7)
名市短	17
岐女短	38
南山短	11
淑徳短	50
摺山短	10
金城短	58

※()内は浪人(内数)

梅雨とは名ばかりで夏の水不足が心配になりますが、「一宮西高校同窓会報」九号をお届けします。

さて、西高では来年の三十周年にむけて、校舎の改修工事も始まります。また記念行事等についても準備を進めています。同窓会員も一万人を超すと聞き、つづく三十年の長さと、月日のたつ速さを実感しています。

今回会誌の編集にあたり、なつかしさを感じられる紙面にできだらと考えましたが、思ったようにできず反省しています。今後、皆さんの状況がわかるような記事が掲載できたらと思います。

総会での集まりが少ないとのこと。今年はどしどし参加し、旧交を深めようではありませんか。

編集後記

※退職（敬称略）		※着任	
校長	新屋哲夫	校長	井上洋一（平和高校）
事務長	酒井正	事務長	林光政（津島高校）
国語	伊藤正隆（海南高校）	国語	市田弘之（平和高校）
社会	堤智彰（五条高校）	社会	澤木美雪（五条高校）
数学	見崎美好（愛知商業高校）	数学	伊藤一（津島北高校）
（一宮興道高校）		数学	青山辰彦（一宮工業高校）
（一宮興道高校）		○ラグビー	○ソフテニス男子
（本年度総体結果）		○硬式テニス男子	○弓道男子
準優勝		○体操女子	○野球
○バドミントン男子		○陸上男子	○陸上男子
○バスケットボール男子		○ラックの部	○トラックの部
○バスケットボール女子		3位	3位
○卓球女子		4位	4位
○バレー男子		ベスト8	ベスト8
○バレー女子		ベスト8	ベスト8
6位		ペスト8	ペスト8

